

小学部スケッチ大会



5月21日(木) 今年残念ながら雨となり校舎からの風景を描くことになってしまいましたが、それぞれが自分で場所を探し写真を撮ったり机といすを運んだりしながら真剣なまなざしで画用紙いっぱいスケッチすることができました。色を付けるときには「これかな」「この色とこの色を混ぜてみよう」などと工夫をしながら絵具を手にとっていました。個性豊かな配色にとっても素敵な絵になる予感と期待で胸が膨らみました。色鮮やかな絵になることでしょね、仕上がりがとても楽しみです。



素敵な絵画ギャラリーを見つけました (小学部)

小学部の教室につながる廊下に図工の授業で取り組んだとても素敵な絵が壁や窓にたくさん掲示してあります。素敵なアートギャラリーです。覗いてみると「心のもよう」「まどをのぞいて」とテーマがついていました。担当の先生に尋ねると「テーマをもとにそれぞれの思いを表現してくれたんですよ」と話してくれました。あらためて一つ一つの作品を見ながら



「どんな気持ちなのだろう」とか「何を思っていたのだろう」などいろいろな疑問がわきながらも思いを自分なりに色で表現した作品に引き込まれてしまいました。それぞれの思いがとても豊かに表現された作品に心はワクワク、ウキウキ、時間を忘れて鑑賞してしまいました。子どもたちの内に秘めた心の輝きがもっともっと力強くなりますようにと願いを込めたところです。



みなさんの心はとても素敵です。たくさんの体験をしながら一緒に輝かせていきましょう。

昼休み、窓からの景色



昼休みの時間、校長室から窓の外を眺めると体育館の電気がついていました。昼休みの時間は教室での活動が多いはずだが、と思いながらその日は過ごしました。次の日、また次の日も昼休みの時間に体育館の照明がついています。中学部の先生に「昼休み体育館で何かやってるの」と尋ねると「生徒たちがピククルボールおもしろいと言って遊んでいるんです」との答え、自分たちから率先して運動をしていると聞き体育館を覗きに行きました。そこには、笑い声や友達を励ます声、助け合いの掛け声など純粋にスポーツを楽しむ姿がありました。一緒にやりたいという気持ちをグッとこらえつつ楽しんでいる姿を観ていました。クラスの仲間だけではなく他の学年とも楽しむ姿がとても素敵でした。生徒たちの自然なかかわりに一人一人の心のぬくもりを感じることができました。「優しい心もっともっと大きくふくらめ」とこれからの成長に期待した瞬間でした。数日後体育館をのぞくと小学部の児童も同じ空間で中学生がやっているピククルボールに興味を示し、友達や先生たちと楽しむ姿も見られました。子どもたちが交わって楽しむ姿をまぶたの奥にうかべつつ体育館での時間に心癒されました。



子ども同士の輪がもっともっと広がりますように！！